

ノーリフティング研修シラバス

科目名	ノーリフティング基礎研修
対象	研修規程第2条第2項に該当するもの。
担当講師	(e-ラーニングシステムによる講義)
目的と概要	前半にノーリフティングポリシー導入に至った社会的背景を学び、後半に実践のための知識の習得を目指します。
研修計画	<p>1.ノーリフティングポリシー導入主旨 医療・介護現場におけるノーリフティング導入の目的・必要性を理解する。</p> <p>2.安全介護法規講座 医療・介護現場での抱え上げ人力作業に関する法制度について経緯と社会的背景を理解し、介助動作のリスクとその対策を学ぶ。</p> <p>3.プレゼンテーション講座 生体構造を理解し、作業姿勢による身体的影響を学ぶとともに、最適な作業姿勢やエクササイズを学ぶ。</p> <p>4.安全な介護動作の原則 安全な介助方法と姿勢による負荷とリスクを学ぶ。</p> <p>5.安全な姿勢と起立介助 安全な介護施設の基本と自立支援のための姿勢を学ぶ。</p> <p>6.寝返りとスライドシート 頻繁に行われる寝返り介助におけるスライドシートの活用を学ぶ。</p> <p>7.リフト移動 介護リフトの活用を学ぶ。</p> <p>8.清掃作業とベッドメイキング 清掃作業やベッドメイキングにおける正しい姿勢を理解し、故障を予防する方法を学ぶ。</p> <p>9.安全介護実践例 医療・介護現場で発生する具体的な事例から対処方法を学ぶ。</p> <p>10.コミュニティーでのケア 家庭における、安全な介護方法を学ぶ。</p>
履修上の留意	ノーリフティングポリシーの基本知識であり、項目も多岐にわたるため計画的な受講と粘り強く取り組むことが必須条件です。
準備学習・事後学習	医療・介護の知識が必要であり、さまざまな情報を得ておくことがノーリフティングポリシーの理解を深めます。
サブタイトル	ノーリフティング実践に向けた一般研修への基礎的知識を学ぶ
到達目標	医療・介護現場における職員の身体負荷の軽減のみでなく、要介護者の自立のための支援を行なうための基本的な知識を習得します。
研修形態・方法	e-ラーニングシステム
成績評価方法及び評価基準	研修計画の單元ごとに理解度チェックを行います。
開講期間	通年。ただし第Ⅰ期を5月から6月（申込み期間4月）、第Ⅱ期を8月から9月（同7月）、第Ⅲ期を11月から12月（同10月）、第Ⅳ期を2月から3月（同1月）とする。
更新日付	初版